

令和 7 年度 歯科保健専門委員会の結果について（報告）

1. 会議の名称

令和 7 年度 栗東市歯科保健専門委員会

2. 開催日時

令和 7 年 10 月 23 日（木）14 時から 15 時 30 分まで

3. 開催場所

栗東市総合福祉保健センター 集会室

4. 報告・協議事項

報告事項

(1) 令和 7 年度第 1 回健康づくり推進協議会の結果について

・予防歯科進捗状況についての報告

協議事項

(1) 各関係機関等における歯科保健の取り組みについて

(2) 各関係機関からの検討事項について

(3) 予防歯科推進事業について

・今後の取り組み予定について

・フッ化物配合歯みがき剤の活用状況アンケートについて

5. 意見等（一部抜粋）

協議事項 (1) 各関係機関等における歯科保健の取り組みについて

(2) 各関係機関からの検討事項について

・2+2+2+2 法に限らず、学校での歯みがきは学校により歯みがきが定着度にバラツキがあることやハード面（手洗い場等の水場環境）が整っていない状況がある。歯みがきを促しているが、2+2+2+2 法が定着しているのか、と問われれば定着していると言い切れない。

・今年度からの指導案に 2+2+2+2 法を盛り込むために総保専に依頼はしてみたものの、2+2+2+2 法について理解が十分ではないので難しいと言う返事で、それ以上は進捗していない。

→歯科医師会、歯科衛生士会も巻き込んで総保専と連携していければと思う。

・学校の先生もしかりだが、様々な場所で市民が 2+2+2+2 法について知っていけることが大事かと思っている。

- ・高齢者へ向けた取り組みについて。今まで出前講座内に組み込んではいなかったが、ポスターを基に講義内に組み込んでいただけるように講師に依頼している。高齢者へ直接配布も考えたが、高齢者には字が小さいこともあり講義内での周知を出来ればと思っている。
- ・節目歯科健診について。他の自治体の例として、一部のみ対象となるが15分程度のクリーニング（歯石除去除く）を実施しており、そういったことを実施出来れば受診率が高くなるのかとも思う。
- ・節目歯科健診の受診率向上対策の1つの案として、節目歯科の無料化も1つかと思う。
- ・節目歯科の検診票の方が学校のものより記載内容が細かく、記載に手間がかかる。健診票の簡素化について、今後、検討いただきたい。

(3) 予防歯科推進事業について

- ・栗東市民が全員2+2+2+2法を知ると言うことがまずは大事である。もっとチラシやリーフレットをバラまいていただければと思っている。まだ、バラまきが足りないと思っている。
- ・2+2+2+2法の推進は、すぐに結果が出るわけではないが、種をまかないと花は咲かないので着実に取り組みを進めていただければと思っている。

 【フッ化物配合歯みがき剤の活用状況アンケートについて】

1. アンケート調査の概要

目的	健康増進課が行う予防歯科推進の取り組みの評価および今後の市歯科保健施策の参考にするために行った。
調査対象	市立小学校在籍の全児童の保護者（児童1人つき1回答）
調査期間	令和7年10月16日から令和7年11月30日まで
回答方法	WEB（市ホームページのアンケート機能を使用）もしくは紙
その他	紙で回答された分については、学校単位でまとめて健康増進課へ送付していただきました。

2. 結果概要（速報値）

- ・回答率：24.0%
- ・平日の平均歯みがき回数：2.4回
- ・歯みがき剤使用率：97.5%（1,450ppmFの歯みがき剤使用率：27.2%）
- ・保護者の「2+2+2+2法」の認知率：19.1%
- ・児童の歯科医院定期受診率：84.0%（矯正等での治療中も含む）
- ・自由記載
 - ・フッ化物洗口に関すること
 - ・歯みがきに関すること
 - ・費用助成に関すること
 - ・懸念、改善点の提案（フッ化物の使用、学校での取り組み）
 - ・周知、啓発に関して
 - ・感謝、賛同（乳幼児健診、学校での取り組みに関して）